

## 【様式1】

令和7年度事務事業評価（事後評価）  
（令和6年度実施事業）

事業の概要（Plan:計画）						課コード	0901	事業番号	01		
部局室名	子ども家庭部	課所名	子ども施策推進課	担当名	金子	連絡先	2433	事業開始年度	-	事業終期年度	-
事業名	子育て支援事業			事業の実施方法	直接実施及び業務委託			事業の分類①	市独自事業		
								事業の分類②	ソフト事業		
根拠法令	児童福祉法（第21条の8・9）、越谷市子育てサロン事業等実施要綱、越谷市ファミリー・サポート・センター実施要綱、越谷市緊急サポート事業実施要綱、越谷市子ども食堂等事業費補助金交付要綱										
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・子育てに関する不安や悩みについて、乳幼児とその親が自由に交流できる、子育て支援の拠点を整備する。</li><li>・子育ての援助を受けたい方と、援助を行いたい方を会員として組織し、相互援助活動体制を整備する。</li><li>・子育てにかかわる情報をわかりやすくタイムリーに情報提供する。</li><li>・「こしがや　こどもまんなか！フェスティバル」を開催し、こどもや子育て世帯を地域全体で支える機運を醸成する。</li><li>・子ども食堂の運営に係る費用に対し補助金を交付する。</li></ul>										

事業の実施（Do：実施）										
		令和5年度 決算		令和6年度 当初予算		令和6年度 決算		令和7年度 当初予算		
		人工	人件費	人工	人件費	人工	人件費	人工	人件費	
事業費等	人件費	①常勤職員	1.99	16,517,000	2.43	20,412,000	2.43	20,655,000	2.43	20,898,000
		②会計年度任用職員	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		合計A（①＋②）	1.99	16,517,000	2.43	20,412,000	2.43	20,655,000	2.43	20,898,000
	事業費内訳	①国・県支出金	28,718,666		29,800,000		32,632,000		33,730,000	
		②市債	0		0		0		0	
		③その他の財源	0		0		144,352		0	
		④一般財源	19,861,334		23,270,000		19,907,440		17,830,000	
		合計B（①～④）	48,580,000		53,070,000		52,683,792		51,560,000	
	総事業費合計（A+B）		65,097,000		73,482,000		73,338,792		72,458,000	
事業費が増減した理由		－								
成果	成果指標	延べ利用人数				R4年度	R5年度	R6年度	達成度	
	成果指標の説明	子育てサロンの利用人数			目標	48,000	48,000	48,000	B	目標を80％程度達成した
					実績	37,002	41,598	41,179		
事業の実績	・子育てサロン出張広場の開催場所を増やし、地域の子育て支援に貢献した。 ・ファミリー・サポート・センターの初期研修会の開催回数を増やし、提供会員数が増加した。 ・「こしがや こどもまんなか！フェスティバル」を開催し、3,000人以上集客した。 ・申請のあった子ども食堂に対し、補助金を交付した。 ・越谷市がSAITAMA出会いサポートセンターの会員となり、市内の利用登録者数が増加した。									

事業の評価（Check：見直し）						
評価の視点		評価	評価内容の説明			
必要性	社会的なニーズ	○	子育てにおいては、育児不安や孤立感を抱くことが想定され、不安等を解消し、子育ての喜びが実感できる環境づくりを進める必要がある。また、生活のなかで、子どもを一時的に預けたり、保育施設へ送迎したり、病気の際の緊急預かりなどの援助を受けたい場合も想定され、援助を受けられる環境を整えることで生活環境を安定させていく必要がある。	委託化の可能性	一部あり	
	市が実施すべき妥当性	○		委託可能な範囲	・子育てサロン ・ファミリー・サポート・センター ・緊急サポートセンター ・「こしがや こどもまんなか！フェスティバル」運営	
	民間との連携	○		他市事例	なし	
有効性	事業目的達成への繋がりが	○	子育てに関わる育児不安等の解消や援助内容を充実することで、子育ての喜びが実感できる環境を整え、生活環境を安定させていくことができる。			
	事業見直しの必要性	-				
	ニーズの傾向	○				
効率性	活動量の成果	○	子育て支援について専門的知見のある運営する法人へ事業を委託することで、質の高いサービスを提供することができ、円滑な運営を行うことができる。			
	将来コストの見込み	○				
	受益者負担の適正度	○				
外部評価・包括外部監査の指摘（概要）		-				
上記に対する措置等		-				
事業を実施した上での課題等		・ファミリー・サポート・センターの提供会員の高齢化と担い手不足が懸念される。 ・補助金を申請する団体が予想より少ないため、より活用しやすい制度への改訂が必要である。				
総合評価		B（課題が少しあり事業の一部見直しが必要）				
総合評価の説明		令和6年度は「こしがや こどもまんなか！フェスティバル」の開催や、SAITAMA出会いサポートセンター事業の開始、子育てサロン出張広場の増加など、新しい事業の開始も多く、子育て支援の環境整備に貢献できた。今後も、子育て支援の需要を理解し、事業の拡大を検討していく。				

今後の方向性（Action:改革改善）									
今後の方向性		見直しの継続							
次年度の取組内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロン出張広場の開催回数を増やし、地域の子育て支援の需要に対応する。</li> <li>・SAITAMA出会いサポートセンターの利用登録者数を増やすために、越谷市役所にて出張登録会の開催を検討する。</li> <li>・子ども食堂等事業費補助金を多くの団体に活用いただくため、補助対象にフードパントリーと学習支援を追加する。</li> </ul> ※子育て支援の需要は高く、新規事業の実施や事業の拡大を検討している途中経過にあるため、現時点においては外部有識者の意見を取り入れる意向はない。							
外部有識者の意見を取り入れる意向		なし							